

平成から令和へ「新しいながさき」を一緒に創ろう！ ～総合計画シンポジウム～ 開催結果報告

1. 開催結果概要

開催日時:令和元年6月3日(月)18:30～21:00(18:00 開場)

開催場所:長崎ブリックホール 国際会議場

来場者数:約 350 人

プログラム:

	時刻	プログラム
第1部	18:30	開演
	18:30～18:40	開会の挨拶(長崎市長)、概要説明
	18:40～19:30	基調講演 テーマ:「日本のこれまでの10年、これからの10年～今後のまちづくりに求められるものとは～」 講師:寺島実郎氏(一般財団法人日本総合研究所会長)
—	19:30～19:45	<<休憩>>
第2部	19:45～21:00	パネルディスカッション テーマ:「活気があるながさき」の実現に向けて パネリスト:泉 菜月氏(元ロマン長崎) 北川 栄太氏(崎永海運株式会社代表取締役社長) 原口 光美氏(トムテのおもちゃ箱) 山口 広助氏(まち歩きの人) 田上 富久氏(長崎市長) コーディネーター:西村 宣彦氏(長崎大学経済学部教授)

2.各プログラムの概要

(1)開会の挨拶

総合計画シンポジウムの開催にあたり、
長崎市長が開会の挨拶を行いました。



(2) 基調講演

一般財団法人日本総合研究所会長の寺島実郎氏による講演を行いました。「日本のこれまでの10年、これからの10年～今後のまちづくりに求められるものとは～」と題して、日本のGDPや株価時価総額の推移といった大きな経済状況の変化、「ものづくり国家日本」の技能の衰退の現状など時代認識の重要性について語られました。

そして、今後10年はアジアダイナミズム(日本を除くアジア)をどれだけ賢く吸収し地場の産業に活用するかが大切であり、そのような時代における長崎の現状や強みについて言及され、今後、日本や長崎がどのようなまちづくりを進めたらいいの大きな方向性を示唆頂きました。



(3) パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、『『活気があるながさき』の実現に向けて』をテーマに、市長をはじめ様々な分野からパネリストをお迎えし、パネルディスカッションを行いました。

10年後幸せと感ぜられる長崎は？活気がある長崎とは？自分たちには何が出来る？パネリストの皆さんがそれぞれの立場で語り合い、観覧されている観客の皆さんも共感や気づきを得ながら、長崎の将来について考える機会となりました。



コーディネーター



西村 宣彦氏

パネリスト



泉 菜月氏



北川 栄太氏



原口 光美氏



山口 広助氏



田上 富久

3. その他

長崎市の取組みを紹介するパネルを会場前に展示しました。

